

令和3年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会会議録

日 時 令和3年10月27日（水）13時～14時

会 場 瑞浪市化石博物館レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 大路 樹生（学識経験を有するもの）
松岡 敬二（学識経験を有するもの）
中山 京三（社会教育関係者）
西尾 京子（家庭教育の向上に資するを有するもの）
吉田 尚子（学校教育関係者）（会長）
<事務局> 柄澤 宏明（館長代理）・安藤 佑介

1. あいさつ

館長代理より開催の挨拶がなされた。

吉田会長より挨拶がなされた。

2. 報告事項

令和3年度事業中間報告について

令和3年10月までに実施した事業の結果を報告した。

- ・ミズナミムカシアシカについて

委 員：正式名称なのか、研究状況はどのようになっているか。

事務局：昨年発見された頭骨につけた愛称であり、正式な研究を今後行い、学名を付ける予定である。

- ・企画展について

委 員：企画展の収入はどうか。企画展の入場料を徴収してもよいのではないか。

事務局：当館の常設展は展示替えが難しいため、企画展において普段収蔵庫に保管されている資料の公開を行っている。常設展の補助的な役割があり、規模も小さいため入場料の徴収は行わない。

3. 協議事項

令和4年度事業計画について

- ・予算について

委 員：予算の獲得状況はどうか。外部資金の充当はあるのか。

事務局：アシカの頭骨レプリカ制作など重要な事業については予算計上の際に事業の重要性についての資料を添付するなど工夫し、予算を獲得している。外部資金については入館料や講座の受講料を充当している。

• 講座について

委員：講座以外でも来館者アンケートを実施し、博物館が利用者にとってどのような施設とみられているのか把握してほしい。

事務局：検討していきたい。

委員：講座の告知ポスターを館内だけでなく研修室など複数個所に掲示してほしい、1か所のみでは見過ごす恐れがある。

事務局：講座の開催場所にも掲示し、多くの方の目に留まるよう努める。

• 学校との連携について

委員：学校では3学期に次年度の計画を立てるためこの時期に広報を行ってほしい。

事務局：2月または3月の校長会で来年度の講座等について告知する。

委員：近年は児童生徒一人一人にタブレット PC が配布されているのでこれを活用した講座も考えてほしい。

事務局：オンラインで博物館と学校をつなげる試みは先日理科部会で告知した。今後は手法を確立し、地元の学校と連携できるようにしたい。

4. その他

• 文化施設再編について

委員：再編の計画はすすんでいるのか

事務局：現在関係する課と調整中である。また、防災の点から建設予定地の選定が重要であることが判明した。

委員：市の総合計画との兼ね合いはどうか。文化施設の再編については施設の建設についても総合計画に必ず盛り込む必要がある。

事務局：文化施設の再整備については盛り込まれている。今後は建設計画を盛り込めるように努力する。